

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		16-	5
事業名	教育振興経費（小学校費）	会計	款	項	目
		一般	10	2	2
施策	3	心豊かなまち	課名	学校教育課	
	3-1	生涯学びのあるまちをつくる	係名		
	3-1-1	幼児教育・学校教育の充実			
主要施策	②学校教育内容の充実		⑤心の問題への対応		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	各小学校の児童	目的（対象がどのような状態になっているか）	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善を行い教師の指導力を向上させる。 ・いじめ、不登校等の未然防止、早期発見、早期対応を可能にする。 ・児童の課題解決能力を高める。
事業内容	①〔学力向上推進事業〕総合学力調査を定期的実施する。その結果において、D層に入っている児童をC層以上へ引き上げるためにどう授業を改善したらいいかを各校で考える。 ②〔不登校児童生徒対策事業〕QU調査（学級生活満足度調査）を学期に1回実施し、児童や学級の状態を把握する。課題については、全職員が共有し、改善、解消に向けて具体的な取組を行う。 ③〔特色ある学校づくり事業〕学校裁量の予算措置をすることによって、学校独自の計画に基づいた主体的かつ特色ある教育活動を推進する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）		
	1	目標値に達した児童数の割合（国・算）	85.6	85.5	84.3	%		82.5	
2	不登校の児童数	9	11	8	人		0		
3	不登校の生徒数								
4									
5									
		平成30年度（決算）		令和元年度（決算）			令和2年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B				17,484	14,223	17,868			
財源内訳	直接事業費A				17,286	14,025	17,670		
	うち一般財源				17,286	12,402	15,787		
人件費（千円）B				198	198	198			
内訳	一般職員（人・千円）		0.03		198	0.03	198	0.03	198
	臨時職員（人・千円）				0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	全児童を対象に総合学力調査（IRT）を実施し、D層10%未満を目標に学力向上と授業力改善を図る。全児童を対象に学級満足度調査（QU調査）を実施し、個々にきめ細かい支援を行い、より良い学級集団作りに活用する。	③取組の課題	IRTにおいては、D層10%未満児童に焦点を当てた、個別指導や授業改善をさらに進める必要がある。
②R2年度に実施した取り組み	全校全学年においてIRTの結果を行い、D層の児童を焦点化しながら、学力向上が図れる授業作りに取り組む。年間3回（1年生は2回）のQU調査結果に基づき、個々や学級の状況を把握し、問題行動や不登校の未然防止や早期対応に活かす。	④今後の改善計画	前年度に引き続き、IRTやQU調査の結果を効果的に活用し、問題行動や不登校の未然防止や早期対応に努め、きめ細かい支援を行う。